

■米国：米大統領選討論会で両候補者がクリーンエネルギー政策について言及

2016年9月26日に開催された第一回目の米大統領選討論会において、ヒラリー・クリントン氏、ドナルド・トランプ氏の両大統領候補者は、クリーンエネルギー政策について言及した。トランプ氏はDOE（米国エネルギー省）が約5億ドルの融資保証を2011年に破綻したSolyndra社（カリフォルニア州の太陽光事業者）へ行っていたことを例にあげ、オバマ民主党政権が「雇用創出」のために再生可能エネルギーを手厚く擁護した結果、政府は多額の不良債権を背負い込んだと非難した。一方、クリントン氏は、クリーンエネルギー関連の雇用と経済をサポートするために、さらに太陽光パネル5億枚を導入すると言及した。